

北星・原発問題講演会

第24回 ご案内 一般の方の参加を歓迎します

テーマ **ICRP が隠蔽する本当の放射線健康被害**
—長寿命放射性元素体内取込み症候群—

講師 西尾 正道 さん



北海道医療専門学校 学校長、
 国立病院機構北海道がんセンター名誉院長

専門分野と研究テーマは、「放射線治療学」。所属学会は、日本医学放射線学会、日本放射線腫瘍学会、日本癌治療学会、など。北海道がんセンターで39年間がんの放射線治療に従事。著書は、『放射線治療医の本音—がん患者 2万人と向き合っ—』2002年(NHK出版)、『放射線健康障害の真実』2012年(旬報社)、『被ばく列島』共著、2014年(角川学芸出版)、その他、医学領域の専門学術論文・著書多数。

概要：福島原発事故後の対応・対策は「国際放射線防護委員会(ICRP)」の放射線防護学を基にしている。しかしICRPの目的は核兵器製造を含めた原子力政策の推進である。このため放射線の人体影響を過少評価する内容で非科学的物語を作っている。このICRPの放射線健康被害の内容について根源的な視点で考え問題点を指摘する。また、福島の現状を通じて今後憂慮される人体影響について述べたい。

日時 5月19日(木) 18時~19時30分
会場 北星学園大学 C館 C502 教室 (定員142名)

札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

* 終了後 懇親交流会

(自由参加・実費必要)

入場無料、
 予約不要、
 当日、会場で
 受付します。

予定(第25回)：2016年07月15日(金)「原子炉
 圧力容器の脆性破壊(仮題)」講師 姫宮利融 さん

主催：北星・原発を考える会

Webサイト：http://www.ipc.hokusei.ac.jp/projects/np_forum/
 「北星・原発を考える会」では会員を募集中です、希望の方は連絡先へ
 世話人の連絡先：(e-mail: projects@hokusei.ac.jp, Fax:011-894-3690)

引用図はICRP2007 勧告の表紙 The figure referred to ICRP publication 2007

<http://www.icrp.org/publication.asp?id=ICRP%20Publication>

Volume 37 Nos. 2-4 2007

ISSN 0146-6453
 ISBN 978-0-7020-3048-2

ICRP
 Annals of the ICRP

ICRP Publication 103

The 2007 Recommendations of the International
 Commission on Radiological Protection